

幼児教育学科

科目名: 子どもの健康と安全			担当教員 氏名: 水上 彰子、土居 和代			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次	後期	専門科目	演習	6単位 選択必修	保育士資格指定科目(必修)
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:			実務経験事例をもとに講義及び具体的援助技術の演習			
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助、子どもの体調不良時の適切な対応について具体的に理解する。「アレルギー対応ガイドライン」「感染症対策ガイドライン」「事故防止及び事故発生時の対応ガイドライン」や近年のデータなどにに基づき具体的な対応を理解する					保育環境・衛生管理・事故防止・安全対策・危機管理・災害対策、ガイドライン	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		2. 5. 6. 9.	
A 知識・理解力	子どもの健康と安全について知識を身につける					
B 専門的技術	乳幼児の生命と健康を守るため、子どもの発達や状態に即した適切な対応を習得し活用できる					
C 論理的思考力	習得した技術を理論に照らし合わせ、状況や関係を把握して考えることができる					
F チームワーク・リーダーシップ	多者との信頼関係を築き、協調、協働して行動できる「私」になる					
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 50 %	レポート: 30 %	発表: 20 %	実技試験: %	その他: %		
特記事項: グループワーク原稿は5枚以上とし、発表はディベートを実施する。授業計画は④⑫⑬回目						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習、ディスカッション、ディベート、グループワーク、プレゼンテーション、実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: グループワークは原稿を作成し4,12,13コマで発表し評価する。8コマと14コマで小テスト実施。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: グループワーク原稿は冊子にして返却・発表・解説する。テストは返却時に解説する						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
①子どもの健康と保育環境—健康管理・保健管理—				【復習】乳児と幼児に分けて健康観察ポイントをまとめる	120分	
②子どもの保健に関する個別対応と集団全体の健康及び安全管理				【復習】グループ別安全指導マップ作成	180分	
③健康及び安全の管理—衛生管理と事故防止及び安全対策—				【予習】事故防止・事故発生時の対応ガイドラインを読む	120分	
④安全管理の実施体制—職員間の連携・協働と組織的取組—				【予習】安全マップ担当別発表準備	120分	
⑤健康及び安全の管理—危機管理と災害への備え—				【予習】災害防災事例を読む	120分	
⑥体調不良や傷害が発生した場合の対応				【予習】教科書第6章乳幼児の生理機能の測定を読む	120分	
⑦感染症の集団発生の予防と罹患後の対応				【予習】感染症対策ガイドラインを読む	120分	
⑧保育における保健的対応—3歳未満児への対応—				【予習】教科書(第3章乳幼児の養護)を読む	120分	
⑨保育における保健的対応—障害のある子どもへの対応—				【予習】教科書(精神機能、運動機能の発達評価)を読む	120分	
⑩乳幼児の異常症状と手当、事故と応急手当				【復習】異常症状、応急手当、グループ担当別原稿作成	180分	
⑪救急処置及び救急蘇生法—乳幼児の一次救命処置—				【復習】CPR手順と救急車の呼び方をまとめる	120分	
⑫乳幼児の異常症状と手当—症状別手当の実際—				【予習】異常症状担当別発表準備	120分	
⑬乳幼児の怪我・事故と応急手当—症状別手当の実際—				【予習】事故と応急手当担当別発表準備	120分	
⑭個別的配慮を要する子どもへの対応(慢性疾患、アレルギー性疾患等)				【予習】アレルギー対応マニュアルを読む	120分	
⑮保育における保健活動の計画及び評価				【復習】保育所設備の基準、保健たより項目をまとめる	120分	
使用テキスト: 子どもの保健演習ガイド 高内正子 編著(建帛社) ISBN978-4-7679-5028-0				その他参考文献など: 資料適宜配布・「育育児典(全2冊)病氣編」著 毛利子来 山田真 (岩波書店)		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 教科書のワークシートを利用、共有し、予習、復習が繋がりをもちて学ぶ機会になることを期待します。						